

# Green Spirits



に加えて様々な汎用的能力や高度な力の習得が求められています。新しいニーズに応えながら少人数教育を

経営学部での電子課程教育強化を目指した取り組みと、電子ポートフォリオの果たす役割について説明します。

経営学部では、2008年4月に、先進校の取り組みも参考にしながら独自の学習ポートフォリオを初年次教育に導入しました。また、導入後は、初年次教育学会などの場で対外的に紹介を重ね、専門家の先生方のアドバイスもいただいできています。また、2009年度の就業力強化(GP(Good Practice))に採択されました。

現在、初年次からキャリア教育・指導までをつなぐ取り組みとして、日本の教育機関では初めて(海老澤信一・前学部長が企業での導入例を見学し、大学教育への転用を提案)となるクラウドコンピューティング活用例として注目されています。

## 電子ポートフォリオの活用 金井 繁雅 経営学部学部長

経営学部では、ゼミナール主義を掲げてきています。しかし、学士方や社会人基礎力が示すように、知識の習得

維持・強化するには、電子ポートフォリオを活用し、学生一人一人の成長を支えることが必要と考えます。全学的に整備が進められているカリキュラムチェックリストやカリキュラムマップの作成は、個々の学生の成長を後押しする仕組みの土台です。

入学時から卒業まで、学生が自らの成長を確認し、成果物を記録し、更にはその成果を就職活動に活用していくツールとして、電子ポートフォリオは有効です。学生は、教科の履修に加え、就活、学内の諸団体、部活・サークルでの活動でも成長します。が、教職員に加え、上級者、インターシップ先等の方々も指導に関わります。そこで、教職員が、学生と双方向のコミュニケーションを行い、関連情報を共有し、学生の成長を支える必要があります。

教育の質保証を図る上で、電子ポートフォリオの活用は鍵を握ると思います。早い段階でフィードバックすることで、学生のモチベーションを維持することができません。教育効果を検証し、実際の教育内容にそれを反映させる上でも、有効なツールです。初年次教育やキャリア教育を足がかりに、学士課程教育全体への発展を期しています。